

# 第17回関西伝熱セミナー in 京都「マルチスケール伝熱を考える」開催報告

報告者 稲岡恭二 (同志社大学)

開催日：2022年9月9日(金)、10日(土)

会場：ハートンホテル京都 (〒604-0836 京都市中京区東洞院通御池上ル船屋町 405)

参加者：50名 (一般40名 (12大学33名, 企業7名), 講師10名)

協賛：(公社)化学工学会 熱工学部会, (公社)化学工学会 エネルギー部会

(一社)日本太陽エネルギー学会, (一社)エネルギー・資源学会, 日本熱物性学会

日本ヒートアイランド学会, (一社)日本機械学会, (一社)日本機械学会 関西支部

内容：

9月9日(金)

13:10-13:15 開会あいさつ

塩見洋一 (龍谷大学)

13:15-14:15 気候システムの中に見られる現象の組織化と階層構造 (特別講演)

富田浩文 (理化学研究所)

14:25-15:10 ふく射のエネルギー収支に着目した地球温暖化模擬実験手法の検討

熊野智之 (神戸高専)

15:10-15:55 経済的な脱炭素社会を実現する蓄熱発電

岡崎 徹 (エネルギー総合工学研究所)

16:10-16:55 大阪・関西万博(EXP2025)におけるエネルギーマネジメント・水素エネルギー利用

永見 靖 (2025年日本国際博覧会協会)

16:55-17:40 空調排熱をかしこく利用する“帯水層蓄熱冷暖房”の魅力と導入拡大に向けた取組

高島悠平 (大阪市環境局) / 中尾正喜 (大阪公立大学)

18:30-21:00 夕食, 意見交換会

稲岡恭二 (同志社大学, 司会)

9月10日(土)

9:10-9:55 就寝環境と人の睡眠に関する研究

都築和代 (関西大学)

9:55-10:40 気泡の利用による自然対流熱伝達の促進

北川石英 (京都工芸繊維大学)

10:50-11:35 微細加工技術のライフサイエンス研究への展開

外岡大志 (京都工芸繊維大学)

11:35-12:20 真空ナノギャップを用いた熱電子発電実現に向けて

土屋智由 (京都大学)

12:20-12:40 閉会あいさつ

芝原正彦 (大阪大学)



<備考>

新規感染者数 92,741, 累計感染者数 20,092,371, 死亡者数 42,557 (2022年9月10日時点).

本セミナーはコロナウイルス感染症のため1年延期になった. 2021年9月10日の新規感染者数は8,881.

新規感染者数は1年前の10倍を超えていたものの, 社会状況も変わり, 行動制限が無い状況のもとで, 感染対策に則りつつ対面形式で2日間開催した. 参加者50名のうち45名が夕食・意見交換会に参加し, 伝熱について活発に議論し, 交流を深めたことを付記する.



塩見洋一 支部長



富田浩文 氏



熊野智之 氏



岡崎 徹 氏



永見 靖 氏



高島悠平 氏



中尾正喜 氏



都築和代 氏



北川石英 氏



外岡大志 氏



土屋智由 氏



芝原正彦 副支部長



講演会場（ハートンホテル京都2F、嵯峨・高雄の間）



夕食・意見交換会（ハートンホテル京都1F、宇治・伏見の間）